新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY　神戸大学　愛媛大学 EHIME UNIVERSITY　佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

琉球大学 UNIVERSITY OF THE RYUKYUS　独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校 National Institute of Technology (KOSEN), Hakodate College　神戸高専 Kobe City College of Technology

独立行政法人国立高等専門学校機構 宇部工業高等専門学校　奈良先端大

大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

イベント通知

2026年6月5日

＼宮古島サテライト会場を新設！／

親子で遊ぼう！夏休み子どもサイエンス教室 2026

―全国の女性技術職員 60 名超が連携―

【7/31(金)13 時～@阪大、琉球大(本島、宮古島)、奈良先端大、およびオンライン同時開催】

❖ 概要

全国の大学・高等専門学校に所属する女性技術職員 60 名超が連携し、小学 3・4 年生を対象とした**「夏休み子どもサイエンス教室」を 7 月 31 日に開催**します(主催:大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク)。今年で第 8 回を迎える本イベントは、大阪大学をメイン会場に、琉球大学・奈良先端科学技術大学院大学の計 3 会場でオンサイト開催するとともに、オンラインでも全国の子どもたちが参加できるハイブリッド形式で実施します。

今回の新たな取り組みとして、琉球大学が有する宮古島のサテライト施設を第 4 の会場として初めて活用し、離島の子どもたちにもオンサイトでの実験体験の機会を提供します。「すべての子どもたちに平等に科学の楽しさを届ける」という理念のもと、「～科学者になろう！～ 色のひみつを探索」と題した科学的な思考力・観察力を育むプログラムを地域・環境を問わず提供します。

当日は、取材いただけるメディアの方に、実施風景を撮影いただけるスペースも設けています。本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。



昨年の様子

❖ 親子で遊ぼう！夏休み子どもサイエンス教室 2026 ～科学者になろう！～ 色のひみつを探索

【日時】 2026 年 7 月 31 日(金)

(オンサイト)13:00～16:30(12:30 受付)

(オンライン)13:00～15:00(12:30 受付)

【オンサイト会場】 大阪大学 工学研究科内センテラス3階「センテラスサロン」(吹田キャンパス)

琉球大学 50 周年記念館(千原キャンパス)、

琉球大学宮古島サテライトキャンパス(宮古島市未来創造センター研修室)、

奈良先端科学技術大学院大学マテリアル研究プラットフォームセンター

【対象者】 小学3、4年生

【募集人数】 70 組（組数は前後する可能性があります。応募多数の場合は抽選となります。）
【申し込み】 6 月 5 日（金）から下記 Web サイトにて　【〆切】6 月 19 日（金）
【参加費】 無料
※オンサイトの方は交通費を自己負担
※オンラインの場合は、インターネット接続環境は各自で用意

【主催】 大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク
【共催】 大阪大学大学院工学研究科、琉球大学、奈良先端科学技術大学院大学
【協力】 全国女性技術職員ネットワーク、神戸大学、新潟大学、静岡大学、愛媛大学、佐賀大学、
函館工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校
【後援】 大阪大学ダイバーシティ＆インクルージョンセンター、
同大学院理学研究科、同大学院基礎工学研究科、同産業科学研究所、同蛋白質研究所、
同接合科学研究所、同コアファシリティ機構共創利用支援部門、岡山大学、鳥取大学

【実験内容】 ペーパークロマトグラフィ
身近な素材を使ったペーパークロマトグラフィの実験を通じ、色の分離という化学的現象を体験しながら学びます。「なぜ色が分かれるの？」という子どもたちの疑問を出発点に、科学的な思考力・観察力を育むプログラムを構成しています。
【詳細 Web サイト】 https://ou-jogi.sanken.osaka-u.ac.jp/ev/kids-2026/

❖ 特記事項

- 大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークは、少数派となりがちな女性技術職員の連携強化を目指す組織です。技術交流や職場環境・キャリアパスの改善、サイエンス教室などの地域貢献に取り組んでおり、現在は関西・全国へとネットワークを拡大しています。
- 本イベントは女性技術職員が中心となって企画・運営する自主的な取り組みです。子どもたちの好奇心や探究心を育むとともに、親子での参加を通じて、理工系分野で技術職・専門職として活躍する女性技術職員の姿を保護者の皆さまにも広く知っていただく機会となることを目指しています。さらに、将来を見据えた STEM 教育の推進や、理工系分野への進路選択を後押しする取り組みとしての効果も期待しています。
- 各会場には所属大学のスタッフだけでなく、他大学・他機関の女性技術職員も参加し、互いの会場を行き来するクロス運営方式を採用します。イベント運営を通じた全国規模の技術職員ネットワークの構築・強化も本取り組みの重要な目的の一つです。
- 報道機関の取材・撮影については、事前に 3 ページの取材申フォームからご連絡ください。